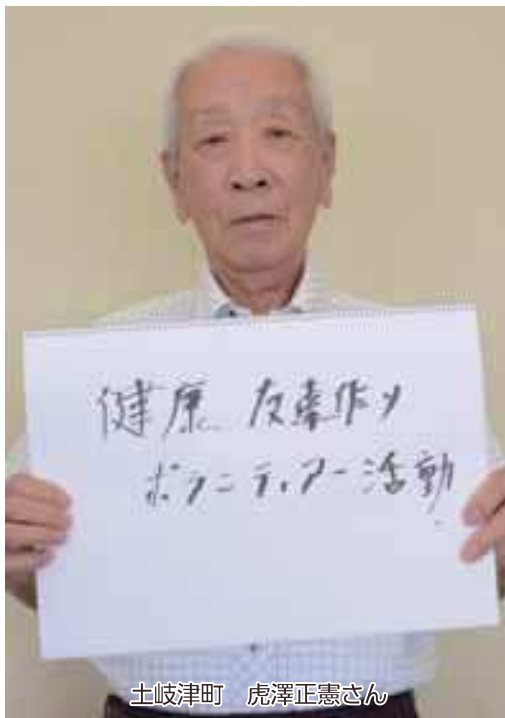




土岐津町 虎澤正憲さん



下石町 土本晋平さん



妻木町 石川弘之さん



鶴里町 瀬瀬敏幸さん

老人クラブって 何するところ？

老人クラブって名前は知っているけど、
どんなことをしているんだろう？ゲート
ボール？カラオケ？

高齢化が進んでいるといわれるが、老
人クラブの会員数は減少しているらし
い。確かに今の60代は体力的にも精
神的にも若く、「老人クラブ」といわ
れても、ピンとこないかもしれない。
今回の特集は老人クラブ。人と人との
つながりが見直されている今、老人ク
ラブが地域のつながりを広げるきっか
けになるかもしれない。

問 高齢介護課（内線160）

【市老人クラブ連合会理事の皆さん】



曾木町 石田健治さん



駄知町 鈴木成巨さん



肥田町 鈴木貞夫さん



泉町 加藤寛治さん

会長、老人クラブについて教えてください！

Q1 老人クラブってなに？

地域で趣味やスポーツ、地域貢献を通して仲間をつくり、生きがいや健康づくりをするクラブです。市内には63の単位クラブがあり、65歳以上の4,403人の方が参加しています。

Q2 どんな活動をしているの？

単位クラブによって異なりますが、グラウンドゴルフやゲートボール、バタンクやサロンなど多岐に渡ります。教える人もクラブの方で、特技や趣味を生かして和気あいあいと活動しています。

市の連合会では、囲碁将棋大会、運動会、軽スポーツ大会、余技作品を発表する福祉大会のほか親睦旅行を行い、仲間づくりをしています。

Q3 会費はいくら位？

単位クラブにより異なりますが年間1,200円～2,000円程度です。活動によっては、別に費用が必要な場合もあります。

Q4 加入するにはどうすればいいの？

お近くの役員さんに声を掛けてください。見学だけでもOKですよ。

Q5 老人クラブのPRを！

年を取ると友だちが欲しくなります。仲間をつくって行事に参加することで、元気に過ごすことができます。老後の生きがいが私たちのモットーです。

会員一同、新しい仲間を待っています！



土岐市老人クラブ連合会
会長 楓 秀男さん（肥田町）



【写真上】
取材した日のテーマは「我が家のペット」と「笠神さまの雨ごい祭り」。テーブルごとに話が盛り上がる。

【写真左】
第15回のテーマ「オート三輪」と昭和30年代の市内の風景

これまでのテーマ（抜粋）
第1回 伊勢湾台風
第3回 中央線の蒸気機関車
第8回 おんぶひも
第9回 お手玉・めんこ
第11回 大阪万博
第12回 美空ひばりの思い出
第15回 嫁入り・オート三輪
第18回 パチンコ
第19回 配給

自分たちの生きた昭和の時代を語り合い、脳を活性化しながら仲間との親睦を深めよう。そんなユニークな取り組みが肥田町の老人クラブ「浅野シルバースターズ（浅野SS）」で行われている。平成22年12月に始まった「昭和を語る会」は、すでに20回を数える。第1水曜日に開催され、毎回会員の半数以上が参加する人気イベントだ。語り合いのテーマは昭和20年代から30年代の家事や仕事、遊びや歌など。時にはお手玉作りやかけなぐといった昔の手仕事をとり入れるなど、毎回工夫を凝らしている。会を案内するチラシは、参加できない人にも楽しんでもらおうというこだわりの作りで、介護などで出掛けられない人にも好評だ。

語る会は、浅野SS会長の丹羽守さんが「年寄りには家にこもりがちで、話し合いの場が少ない」と考えて始めた。「個人的にサークル活動などをしていいる人はいいが、そうでない人たちをどうするか。私たちの活動は地域の人たちをつなげ、広がりをもたせたい。取り組みを発信していきたい」と語り、地域のつながりを大切にすることに老人クラブの意義を見出す。参加した女性の「何でも話せるのがいいわ」と笑った顔が、活動の成果を物語っている。

つながる・ひろがる

支え合い

うさぎ訪問（友愛訪問）

岡田美恵子さん

（土岐市老人クラブ連合会副会長・女性部長）



会員による訪問の様子

きさのぬいぐるみは、女性部長の岡田美恵子さんが「タオル地の心地良さに安心を感じてもらえるから」と考えたもの。訪問のきっかけになればと手渡したうさぎだが、訪問を受けた方から「地域のつながりを感じた」と手紙をもらったとき、「うさぎが生きた」と感じた。

訪問活動は会員にとっても生きがいになっている。岡田さんはうさぎ訪問を「高齢者の相互支援」だと語る。ちよこつと訪問して安気に話し合う。老人クラブだからできる友達のようなつながりあいだ。

地域で子育て

土本晋平さん

（土岐市老人クラブ連合会副会長・下石シニアクラブ会長）



見守り活動をする会員の皆さん

「おかえり」一声を掛けながら子どもたちの下校を見守るおじいちゃん・おばあちゃんたち。下石シニアクラブは、10年ほど前から「地域見守り隊」の一環として、小学1・2年生の下校を見守るため路上に立つようになった。月曜日から金曜日まで、子どもたちの下校時間に合わせ

て会員が集合する。同クラブ会長の土本さんは、「見守りを続けているうちに子どもたちから声を掛けてくるようになった」とうれしそうに語る。

コミュニケーションを取りながら子どもたちの様子を見ることが、交通安全だけでなく地域全体での子育てにつながっている。

高齢者の孤立は、大きな社会問題といえる。市老人クラブ連合会女性部が昨年1月から始めた友愛訪問は、訪問者宅にタオルで作ったうさぎのぬいぐるみを配ることから「うさぎ訪問」と名付けられた。1人暮らしや見守りが必要な老人世帯、昼間に高齢者が1人になる世帯などを対象に、近所に住む女性会員が訪問する。手のひらほどの大